

第2回「8・4はパチスロの日」

3つのイベントを開催
クイズや元氣祭り

パチスロ文化への正しい認識と理解を深めてもらうため、日電協、回胴遊商主催の「8月4日はパチスロの日」キャンペーンが今年も行われることになり、5月7日、日遊協などホール関連5団体にイベントの概要が説明された。

同キャンペーンは2010年に第1回が行われたが、昨年は東日本大震災のために休み、今年が第2回となる。今回のイベントの概要は、①ドリームキャンペーン ②パチスロ元氣祭り ③パチスロガール結成——の3つ。ドリーム

キャンペーンは7月7日から8月10日の期間中に行われるオープン形式のクイズで、特賞「シンガポール3泊5日」(20組40名)、1等「ソニー・タブレット」(100名)、2等「ネット・キャッシュ50000円分」(200名)、3等「クオカード5000円分」(2000名)が当たる。

パチスロ元氣祭りは8月4日に秋葉原で開催する。午前中にプレス発表会を行い、午後にはファンを集めたパネルディスカッション、アントニオ猪木さんのステージイベント、パチスロ・ヒストリーミ

ュージアの展示等を予定している。パチスロガールは同キャンペーン告知でスポーツ紙、業界誌、テレビ局



パチスロの日キャンペーンのポスター

等のメディアを回るために結成される。

不正対策室会議

一般ファンから631件

不正対策室会議(室長・伊東慎吾 日遊協常務理事)は5月14日、日遊協本部会議室で開かれPSIO(不正対策情報機構)への入力報告を行い、ゴト・不正情報について検討した。

4月のPSIOオープンネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は、業界から43件、一般ファンから631件の入力があった。一般ファンの入力は昨年4月(646件)に比べ15件減少した。

ゴトでは相変わらず赤ドン雅などパチスロに対する電磁波ゴト、セルゴトなどの情報が多く、全国的な広がりについてその対策を協議した。不正情報では不審なことなどに対して店員の対応を問題とするものかなり見られ、注意が必要とされた。

また、ファンがパソコンや携帯で入力する際のページについて、メーカー名・不正種類などをより便利にするためにチェックすることになった。

貯玉補償基金理事会

第6期事業報告など承認

一般社団法人貯玉補償基金(代表理事・深谷友尋日遊協会長)は5月16日、日遊協本部会議室で第4回理事会を開き、議案を審議し、報告を行った。

第1号議案として、「第6期(平成23年4月1日〜平成24年3月31日)事業報告及び計算書類承認」の件を審議し、事業報告、計算書類ともに承認された。

報告事項として「貯玉補償基金加盟状況」「資金運用状況及び資金運用継続」「東日本大震災被災状況」「貯玉保有状況」「貯玉/貯メダル再プレイ実施状況推移」の5件が行われた。

ホール5団体消費税対応W
解釈の仕方を整理

ホール5団体消費税対応ワーキング(座長・青松英和全日遊連副理事長)は5月18日、全日遊連会議室で第2回会合を開いた。前回(4月17日)に出された全日遊連の考え方について意見交換し、遊技料金の解釈、賞品の市場価格の解釈などについての論点整理を行った。

厳正なルールの構築へ 大阪A社の事件で協議

遊技機販売業者の業務適正化を促進するための登録資格審査委員会（委員長・深谷友尋日遊協会長。日遊協、日工組、日電協、全商協、回

胴遊商、全日遊連、学識経験者で構成）は5月8日、日遊協本部会議室で臨時委員会を開き、関西遊商組合員の中古機流通に関わる悪質な違反事件の処分について討議した。さらにこれに関連して、不正を働いた業者の監督責任追及などのため、厳正なルールを追加して制度を補強することを確認した。

討議の対象は、大阪市の販社A社（関西遊商所屬）の処分に関する事案。同社の社員B（取扱主任者）が別の販社C社（非組合員）の社員D（取扱主任者）に3点セット（身分証明書、ハンディターミナル、携帯電話）を貸与して点検確認させ、DはB名義で認定申請書類を作成した。Bへの調査で、Bは保険契約のためにA社の社員になっているがC社にも籍がある「二股社員」であり、BからDへの3点セット貸与は常習性があることがわかった。これ

とは別に、A社が担当した同市内の3ホールが不正ロムの取付けで大阪府警に摘発され、これについてもA社の関与が疑われた。

関西遊商は昨年10月の理事会でA社の除名処分を決めたが、総会で否決されたため、翌11月の理事会で改めて審議し、BからDへの3点セット貸与に関して同社を180日間の発給停止処分とした。

これに対して、さる1月の登録資格審査委員会では委員会の立場からより厳正な処分を望む意見が出され、委員会事務局が改めて現地に出向いて調査した。この間、日遊協によるB、Dの取扱主任者の資格取消が行われたが、現地で関係者はほとんど聴取を拒み、A社についての判断の材料がそろわなかった。このため、臨時委員会ではA社については関西遊商の処分を再認せざるをえないことを確認したが、今後の不正を防止するため監督責任についての詳細なルールづくりを検討することになった。「これは明らかにイエローカードだ。カ

ードが2枚になったら退場（除名）というルールを内規でもいいからつくって、常識の範囲で除名できるようにしていただきたい。こういう不正が蔓延することが一番不愉快だ」という強い意見があった。

リサイクル推進委員会 昨年度の実態調査へ

第58回遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務理事）が5月8日、日工組会議室で開かれた。遊技機リサイクル選定業者数（同日現在4社）が確認された。平成23年度（2011年度）の遊技機リサイクル実態調査を行うことが説明された。選定業者に対する処理台数等のアンケート調査で、毎年行われている。今回は昨年4月1日からことし3月31日までの期間が調査対象になる。

インターネット広告協議会 4月は1946枚

パチンコインターネット広告協議会（日遊協、凸版印刷（株）、IMC（株）で構成）が5月10日、日遊協本部会議室で開かれ、電子チラシ広告のポータルサイト「Shufoo!」（凸版印刷（株）運営）に掲載してい

6月の行事予定

1日 (金)	10:00~17:00	環境フォーラム+パチンコ&パチスロフェスタ (ベルサール秋葉原)
2日 (土)	10:00~16:30	パチンコ&パチスロフェスタ (ベルサール秋葉原)
5日 (火)	14:00~	登録資格審査委員会
7日 (木)	14:30~19:30	通常総会 (KKRホテル東京)
8日 (金)	13:00~14:00	パチンコインターネット広告協議会
	15:30~17:30	人材育成委員会
11日 (月)	13:30~14:30	不正対策室会議
	15:00~17:00	ホール5団体風営法検討WG
12日 (火)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新) (大阪ガーデンパレス)
	15:00~17:00	店外オンラインPT
14日 (木)	13:00~14:40	セキュリティ対策委員会WG
	15:00~17:00	セキュリティ対策委員会
15日 (金)	15:30~17:30	広報委員会
21日 (木)	14:00~20:00	中国・四国支部総会 (センチュリー21広島)
25日 (月)	10:00~17:10	取扱主任者講習・試験(新規) (大阪ガーデンパレス)
26日 (火)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新) (大阪ガーデンパレス)
28日 (木)	16:00~	東北支部総会 (パレスへいあん)

るネットチラシ(パチンコのチラシ Power by Shufoo!)の4月の掲載枚数が1946枚だったことが報告された。3月より約500枚のプラスで、依然、漸増傾向にある。

同月の警告用語は、麻葉を想起させる「覚醒」が4件、ガイドラインのNG用語「最強」が1件あった。また、警告画像は、「財宝・金塊」が4件、「炎」が1件あり、いずれも外させた。

総会ラッシュ、6団体が開催

日本遊技産業経営者同友会

5つの活動を承認

一般社団法人日本遊技産業経営者同友会(同友会)は5月16日、東京・上野のオーラムで第7回定時社員総会を開いた。2012年度事業計画として、①会員企業の営業力を強化し、会員企業間の実益を伴う積極的な交流を図る ②ぱちんこ産業の発展に寄与し、ホール団体としての責務を全うする ③業界の健全化実現のための取り組みを強化する ④被災地復興支援事業を軸にした社会貢献活動及び環境対策を強化する ⑤組織体制の強化を図る――の5つの大枠を承認した。

パチンコ・チェーンストア協会 新代表理事に佐藤公平氏



一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会(PCSA)は5月28日、

東京・新橋の第一ホテル東京で定

時社員総会を開き、役員改選で新代表理事に佐藤公平氏(副代表理事) Ⅱ写真Ⅱを、副代表理事に金本朝樹(再)、合田康弘(新)、平林伸一(新)の3氏をそれぞれ選任した。事業・決算報告、事業計画・予算案を承認した。この後、業界、政界等から来賓を迎えて創立10周年記念祝賀会を開いた。

余暇環境整備推進協議会

講話で「広告」の注意

一般社団法人余暇環境整備推進協議会(余暇進)は5月22日、ホテルインターコンチネンタル東京ベイで定時社員総会を開き、2011年度事業報告、12年度事業計画等を承認した。

行政講話で警察庁保安課、玉川達也課長補佐は現在の業界の諸課題として、「広告・宣伝の適正化」「いわゆるのめり込みの問題」「適切な賞品提供の徹底」「不正改造と安易な取扱いの絶無」「賞品買取り等の禁止の徹底」「計数機の点検の実施」「消費税の扱い」「貯玉システムの手数料の取扱い」等を挙げた。

とくに広告・宣伝に関して「規制基準の明確化を通知して1年が経過しようとしているが、

違法広告がいまだに根絶されない状況は理解しがたい。現在、通知発出後の広告・宣伝の実態について検証を行っており、必要と認められれば通知内容を見直すことも考えている」と強い調子で述べた。

遊技場自動サービス機工業会 新理事長に古宮重雄氏



遊技場自動サービス機工業会(自工会)は5月17日、

東京・新橋の第一ホテル東京で通常総会を開いた。役員改選で新理事長に古宮重雄氏(副理事長から昇格)Ⅱ写真Ⅱ、副理事長に秋田光勇氏(再)、高橋正行氏(新)、会計理事に小林友也氏(新)を選任した。木原一雄前理事長は相談役に就任した。

平成24年度事業計画として、①会員の機器等に関するセキュリティの研究、開発促進 ②会員の特許権利の尊重と正当な評価、公平性の確保 ③業界の不正防止対策への積極的な取組み、協力 ④会員

相互の啓発・親睦――を承認した。

回胴式遊技商業協同組合

被災地支援を強力継続

回胴式遊技商業協同組合(回胴遊商)は5月24日、東京ドームホテルで平成24年度通常総代会を開いた。事業計画の中で、東日本大震災に業界が一体となって行った支援活動を今年も継続させ風化させないとし、また、業界にとっても大震災の影響で引き続き厳しい環境だが、組合員が一致団結し、大震災の体験と教訓を生かすことで困難や課題を乗り越えられるとしている。その上で新年度の活動目標として、①組合員が明日の希望の持てる業界構築を目指す ②新たな時代の変化に対応できる組合組織を目指す ③地域・社会に貢献し信頼される組合を目指す――の3点を採択した。

日本遊技機工業組合

9項目の重点課題承認

日本遊技機工業組合(日工組)は5月30日、東京・大手町のKKRホテル東京で通常総会を開いた。東日本大震災の復興を最優先とした上で、①市場のニーズに応え多

様な遊技機の開発・製造 ②「不正に強い遊技機」つくりのための基準」を踏まえ不正防止対策を徹底 ③不正防止対策と環境に配慮したECO遊技機の開発促進 ④販売から処理・リサイクルに至る機歴管理の徹底——など9項目の重点課題を推進する新年度事業計画を承認した。澤井明彦副理事長が退任し、榎本善紀氏が理事に、筒井公久氏が監事に新任した。

東京部・関東支部役員会 会員強化の方策協議

東京都・関東支部役員会は5月25日、日遊協本部会議室で開かれ、会員増加策等を協議した。役員を中心に新規会員勧誘に留意することを確認した。とくに、「環境フォーラム+パチンコ&パチスロフェスタ」「人材育成フォーラム」などのイベントの活用や、広報誌を一定期間送付して日遊協活動に関心を持ってもらうことなどを話し合った。大震災被災地の宮城県南三陸町へ、支部会員の今年度ボランティア派遣を調整・確認した。東京電力管内での夏季節電として、都遊協と連携しての15%節電目標等を検討した。

行政・警察人事

秋田県警人事 (3月16日) 退職 (生安部長)

佐藤聡▽生活安全全部長 (首席参事官) 街頭犯罪対策統括兼生安企画課長兼主任監察官兼刑事部付 (街頭犯罪対策) 森屋昭雄

栃木県警人事 (3月16日) 退職 (生安部長) 相馬誠▽生活安全全部長 (宇都宮東署長) 古川芳巳▽生活安全全部総括参事官・生活安全企画課長 (県民広報相談課長) 菊池正英▽退職 (総括参事官・生安企画課長) 岡田和郎

福井県警人事 (3月19日) 生活安全全部長 (参事官兼首席監察官) 辻崎俊徳▽刑事部長 (生安部長) 飯田英雄▽参事官 (生活安全全部兼生活安全企画課長) (坂井西署長) 棟朝秀一 義則▽生活環境課長 (坂井西署長) 檜原秀一 茨城県警人事 (3月21日) 警務部付・退職 (生安部長) 大高幸夫▽生活安全全部長 (千浦署長) 綿引昭▽日立署長 (参事官兼生安総務課長) 平松一年▽生活安全全部参事官兼生活安全総務課長 (参事官兼組対課長) 海老澤恵一

兵庫県警人事 (3月22日) 総務部長 (生安部長) 谷川昇▽生活安全全部長 (明石署長) 西端佐富士▽生活安全全部参事官兼生活安全企画課長 (神戸西署長) 三浦彰弘▽警務部付・退職 (参事官兼生安企画課長) 岩井清司 和歌山県警人事 (3月22日) 辞职 (生安部長) 形部博安▽生活安全全部長 (参事官、警務課長、会計課長) 小河原史朗▽生活安全全部参事官、生活安全企画課長 (参事官) 地域警察、地指課長 丹羽邦男▽和歌山北署長 (参事官、生安企画課長) 溝端吉廣

山梨県警人事 (3月22日) 生活環境課長 (准崎副署長) 中山長彦▽捜査一課長 (生安課長) 小林仁志

佐賀県警人事 (3月22日) 辞职 (生安部長) 松尾正博▽生活安全全部長 (参事官兼首席監察官) 黒田弘▽生活安全全部参事官兼生活環境課長 (広報県民課長) 境英明

宮崎県警人事 (3月22日) 交通部長 (生安部長) 上久保岩男▽生活安全全部長 (都城署長) 深田周作

鹿児島県警人事 (3月22日) 辞职 (生安部長) 大塚龍一▽生活安全全部長 (刑事部参事官兼生安部参事官) 清留誠▽生活環境課長 (警備課長) 赤間安高▽退職 (生安課長) 千歳隆 沖縄県警人事 (3月23日) 交通部長 (参事官兼生安企画課長) 砂川道男▽生活安全全部参事官兼生活安全企画課長 (九州管区局) 梶原芳也

高知県警人事 (3月23日) 生活環境課長 (監察官) 中内典明▽ (3月31日) 退職 (生安課長) 西村達男

香川県警人事 (3月23日) 高松北署長 (生安部長) 香川保司▽生活安全全部長 (参事官兼人事課長) 兼人材育成センター長) 松本征司▽生活安全全部参事官兼生活安全企画課長 (参事官兼地域課長) 亀井英明▽交通部参事官兼交通企画課長 (参事官兼生安企画課長) 筒井宏和

京都府警人事 (3月23日) 生活安全全部長 (市警部長) 企画課長) 内田一郎▽生活安全対策課長・生活安全全部副課長 (生安部理事官兼警務部付・生安企画課長) 指導室長) 杉山雅弘▽警務部付・退職 (生安対策課長・聴聞官) 宮川和生▽ (4月1日) 中吉署長 (生安部長) 寺井茂樹

鳥根県警人事 (3月23日) 生活安全全部参事官 (生活安全企画課長) (総務課長) 榎原優二▽刑事部参事官 (刑事企画課長) 兼生安全部参事官兼交通部参事官兼警備部参事官 (参事官) 生安企画課長兼刑事部参事官兼交通部参事官兼警備部参事官) 後藤良美

鳥取県警人事 (3月26日) 生活安全全部参事官・生活環境課長 (生安課長) 長谷川優

福島県警人事 (3月26日) 退職 (生安部長) 菅野正幹▽生活安全全部長 (理事官兼企画課長) 緑川静▽生活安全全部理事官兼生活安全

企画課長 (生安部参事官) 星源一郎▽会津若松署 (理事官兼生安企画課長) 金子哲也 静岡県警人事 (3月26日) 総務部長 (生安部長) 崎田剛次▽生活安全全部長 (参事官兼警務課長) 兼静岡市警務部副課長 大島典之 三重県警人事 (3月26日) 生活安全全部長 (津署長) 福島隆司▽津署長 (生安部長) 久保博嗣▽生活安全全部首席参事官 (生活安全企画課長) (参事官) 教養課長) 永戸吉朋▽伊勢署長 (首席参事官) 生安企画課長・犯罪防止対策課長) 栃木新一

北海道警人事 (3月26日) 退職 (生安部長) 佐藤賢二▽生活安全全部長 (学校長) 長澤毅▽広報課長 (保安課長) 西脇貞幸▽保安課長 (名寄署長) 山崎明▽美幌署長 (旭本生安課長) 長船祐子▽松前署長 (鋼本生安課長) 木村将章▽旭川方面生活安全課長 (地域管理官) 及川政彦▽釧路方面本部生活安全課長 (生安部管理官) 手塚謙司

奈良県警人事 (3月26日) 警務部付・勇退 (参事官・生安企画課長) 高田安規▽生活安全全部参事官・生活安全企画課長 (高田署長) 福住孝美

岐阜県警人事 (3月27日) 退職 (生安部長) 白井安孝▽ (4月1日) 生活安全全部長 (大垣署長) 田口由紀男▽生活環境課長 (岐阜中副署長) 佐々健太▽中津川署長 (生安課長) 宮脇和幸

大分県警人事 (3月28日) 辞职 (生安部長) 小出重直▽生活安全全部長 (刑事部参事官兼生安部参事官) 組織犯罪対策・振り込め詐欺対策兼警備部参事官 (組織犯罪対策) 郷司友三郎▽生活安全全部参事官兼生活安全企画課長 (豊後大野署長) 板井英明▽別府署長 (参事官兼生安企画課長) 今山敬久

長崎県警人事 (4月1日) 長崎署長 (生安部長) 大島英吾▽生活安全全部長 (首席参事官) 警察基盤強化兼警務部長) 前田玄治▽生活安全全部参事官兼生活安全企画課長 (南島原署長) 竹口將男

17 日遊協 12-6月号

東北・北関東を訪問しよう

21世紀会が14団体に依頼

パチンコ・パチスロ産業21世紀会（代表・原田實全日遊連理事長）は4月26日、日遊協など構成14団体に宛てて「東北・北関東への訪問運動について」と題する依頼文を送付した。これは、観光立国推進本部の「東北・北関東を訪問することで被災者を励まし応援する国民運動」に沿ったもので、警察庁が4月23日、保安課長名で21世紀会に「東北・北関東への訪問運動について（依頼）」の文書を送っていた。

運動の事務局となっている国土交通省観光庁によると、運動に賛同する民間の団体・企業は自らが企画・開催する会議、研修会、イベント等を東北・北関東で実施するよう検討し、事業内容が確定したら観光庁ホームページ内の特設ページ「東北・北関東への訪問運動」に応募（情報提供）してもらう。情報内容は同庁ホームページで公開され、連携希望があれば相談に乗ってもらう。

被災3組合の負担減免

全日遊連、機構費で決める

全日遊連は5月15日、日遊協など遊技産業健全化推進機構の社員13団体に「東日本大震災に伴い機構経費負担を一部組合に対し減免することについて」と題する文書を発信した。全日遊連は3・11後も厳しい状況にある岩手、宮城、福島3組合からの要請を踏まえて、3組合については2012年度の全日遊連の付加金・機構特別会費等を減免する議案を4月の全国理事会で承認可決し、この

ため、今年度の全日遊連の機構経費負担額が、当初の予測よりその分減少するとしている。

新規入会

5月17日の日遊協定例理事会で2社（正会員、賛助会員各1社）の新規入会が認められた。

●新規正会員

▼社台テクニカルサポート株式会社

代表取締役社長・八木孝太郎

愛媛県松山市桑原1・8・5

TEL089・907・4325

FAX089・907・4388

1998年（平成10年）設立。事業内容はホール関係の設備工事。八木社長は「パチンコ業界は、社会的にはまだ不審の目で見られているところがあります。不正をなくすお手伝いをしていきたい」と思い、日野二郎さん（元日遊協副会長・四国支部長）と相談して入会を申請しました。健全化、人材育成についての日遊協の活動に賛同しています。また、日遊協は大震災への対応が早く、その点でも共感するところがありました」と、入会の動機などを語っている。

●新規賛助会員

▼株式会社西東京ネオグラフィックス

代表取締役・坂井則文

東京都西東京市芝久保町

5・8・2・3F

TEL042・467・1185

FAX042・460・7071

1989年（平成元年）設立。事業内容はグラフィックデザインの企画・制作、広告代理業。パチンコ店の電子チラシを扱うパチンコインターネット広告協議会（日遊協、凸版印刷（株）IMC（株）で構成）から広告代理店に選

DATASPO T

パチスロ機の健闘は続いている

全日遊連は5月23日、店舗数、遊技機台数の2012年4月分を発表した。店舗数は前月に比べると1店増えて1万1270店となったが、昨年4月と比べるとこの1年間で71店舗減っており、極端な傾向ではなくなっているが、低落傾向に変わりはない。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス4万7023台（昨年4月288万5042台）パチスロ機はプラス9万7091台（昨年4月128万8051台）となった。パチスロが17か月連続前年同月比増を続けているのが救いだ。パチスロのお蔭で遊技機全体では5万72台、昨年4月より増えている。＜注＞店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	222	+6
東北	506	+4
東京	506	+14
関東	1459	+35
中部	432	+15
近畿	785	+19
中国	273	+7
四国	131	+8
九州	594	+5
全国計	4908	+113

（2012年4月30日現在）

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	*その他	
1月	11,332	30	21	138 (11)	2,869,178	1,360,139	156	4,229,473
2月	11,303	6	35	137 (14)	2,856,929	1,364,366	156	4,221,451
3月	11,269	9	36	143 (23)	2,843,391	1,369,425	160	4,212,976
4月	11,270	29	38	133 (13)	2,838,019	1,385,142	160	4,223,321

会員・業界消息

●代表者変更

▼ジー・エー・エム株式会社

代表取締役社長・木瀬幸男

〓 4月1日

▼株式会社伊藤商事

代表取締役・伊藤元樹

〓 5月1日

▼株式会社ヤマト

代表取締役・林君江

〓 5月1日

▼株式会社シンワ

代表者・松島貞則

〓 5月7日

▼JCMシステムズ株式会社

代表取締役社長・吉村泰彦

〓 5月10日